

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

## 1 事業所の概要

事業者の名称	アドバンテスト研究所		
事業所の名称	仙台研究所		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区上愛子字松原48番4		
主たる事業	電気機械器具製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>株式会社アドバンテストは、環境方針のもと、グリーン(環境配慮型)製品の開発、環境負荷低減、生物多様性保全など環境保全活動に取り組んでいます。特に、地球温暖化防止については、自社の事業活動から排出されるCO<sub>2</sub>やサプライチェーンから排出される温室効果ガスの削減を意欲的に進めています。また、今後は生物多様性の観点からも長期的な目標設定や方針を定め、持続可能な社会を実現するための取り組みを行ってまいります。</p> <p>アドバンテストの関係会社であるアドバンテスト研究所も上記の方針に従って取り組みを行ってまいります。</p>		

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	4,653 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.8633
	目標年度	2022年度	目標排出量	4,513 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.83
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	4,745 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.8836
			削減率	-1.98%	削減率	-2.36%
	排出量等の増減理由	生産増およびそれに伴う生産設備導入のため、使用電力量が増加しました。				
	第2年度	2021年度	排出量	4,671 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.871
			削減率	-0.39%	削減率	-0.90%
	排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究棟でのパッケージエアコンの更新により、高効率化(-95t-CO<sub>2</sub>)</li> <li>故障した照明器具を順次LEDタイプへ置き換え (-0.1t-CO<sub>2</sub>)</li> </ul>				
	第3年度	2022年度	排出量	4,627 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.8995
			削減率	0.55%	削減率	-4.20%
排出量等の増減理由	研究棟(旧3号館)のクリーンルーム用加湿方法を蒸気式から気化式へ変更した。 全棟の照明をLED器具に交換した。					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	88%	目標年度	94%
	第1年度	94%	実施状況の説明等	新たに室内二酸化炭素濃度の管理および、給湯器の運転方法管理について施策を実施した。
	第2年度	94%	実施状況の説明等	エコドライブ推進のため、社内でエコドライブ教育を実施した。
	第3年度	100%	実施状況の説明等	全棟の照明をLED器具に交換した。

様式第2号別紙1

選 択 対 策 の 実 施 状 況	項目		実施状況
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	デマンド管理		実施済
	再生可能エネルギーの導入		一部実施済
	エコドライブ教育実施		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	外気冷房		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
圧縮空気系統の保全管理		実施済	
そ の 他 の 対 策 の 実 施 状 況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	2000年2月にISO14001認証を取得し事業活動に伴う環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています。	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	アドバンテストグループとして、2020年8月にRE100に加盟し、気候変動対策の中長期目標(CO2排出量削減)を2020年4月に設定しました。	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	テレワークを推進することで従業員の自動車利用の抑制を実施しています。	実施済